

決勝トーナメント組み合わせ



男子ソフトL決勝トーナメントあす開幕

平林金属ク“下克上”へ

西日本4位から頂点挑戦

ソフトボール男子の日本リーグ決勝トーナメント(16、17日・愛知県豊田市)に、前回覇者の平林金属ク(岡山市)が2年連続で出場する。昨季の全国3冠チームは主力の引退などで今季はここまで無冠だが、最後の全国舞台で意地を見せられるか。狙うのは西日本リーグ4位からの“下克上”だ。

東日本、西日本の両リーグ上位4チームずつが出場。西日本を4位通過の平林金属クは、1回戦で東日本を全勝で制したホンダエンジニアリング(栃木)とぶつかり、いきなり正念場を迎える。高い総合力を持つ強敵撃破へ、鍵を握るのは投打の柱・松田だ。打撃は「今はバットを振れば当

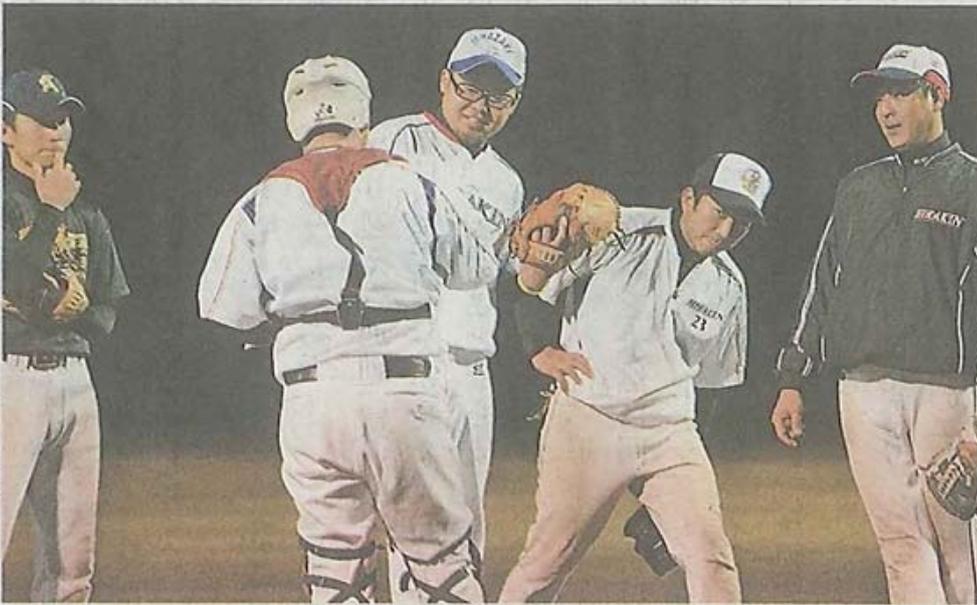
たる状態」と絶好調。リーグ最終節(10月26、27日)の3試合で4本塁打、今季通算9本塁打とし、2年連続のホームラン王に輝いた。相手の最多勝エース浅野を豪打で攻略し、チームを勢いづけた。

松田の前に走者を出せ

るかもポイントで、吉村監督がキーマンに挙げるのが、今季盗塁王を獲得した西山。スタートからトップスピードへ抜群の加速力を持ち、盗塁に加え、セーフティーバントも武器。「相手に警戒される中でも盗塁を決め、松田さんに得点機をつな

ぐのが役目」と西山は意気込む。

1回戦を勝ち上がる
と、準決勝は西日本2位のダイワアクト(佐賀)と東日本3位のトヨタ自動車(愛知)の勝者が相手。難敵ぞろいだが、主将の小原は「これまで苦しんできた分、最後は最高の形で締めくくりたい」とチーム一丸で頂点に挑戦する。(村上達也)



投打の柱・松田光(右から3人目)を中心に一丸で臨む平林金属クHIRAKINライズ球場

2013年11月15日の山陽新聞朝刊に記事が紹介されました
(山陽新聞社より転載許可承諾済)